

雑損控除を受ける方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、雑損控除を受ける場合

【第一表】

※ この記載例の申告書は、パソコンを利用して「確定申告書等作成コーナー」で作成したものです。

〇〇 税務署長
30年2月16日 平成 29 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 A

FA0113

住所 XXX-XXXX 〇〇市△△町X-X X-X	個人番号 XXXXXXXXXXXXXX	フリガナ コクセ イ タロウ
氏名 国税 太郎	性別 男	世帯主との続柄 本人
生年月日 3 49 11 16	電話番号 XX-XXXX-XXXX	送付先 〒

マイナンバー（個人番号）を記入する必要があります。

明治・・・「1」
大正・・・「2」
昭和・・・「3」
平成・・・「4」

収入金額等	給与 7140000	雑 公的年金等 その他	税	課税される所得金額 2336000	上の②に対する税額 136100
所得金額	給与 5226000	雑 配当 一時	金の計	配当控除 政党等寄附金等特別控除 住宅前妻再婚特別控除 住宅特定改善・特定住宅 等基礎控除 差引所得税額 136100	災害減免額 0
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除 小規模企業共済等掛金控除 生命保険料控除 地震保険料控除 寡婦・寡夫控除 勤労学生・障害者控除 配偶者（特別）控除 扶養控除 基礎控除 6から15までの計 2589196	雑損控除 300000	算	復興特別所得税額 2858 所得税及び復興特別所得税の額 138958	外国税額控除 所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額 169500
	医療費控除 寄附金控除 合計 2889196		その他	所得税及び復興特別納める税金 申告納税額還付される金 30542	配偶者の合計所得金額 所得税・復興特別所得税の源泉徴収税額の合計額 未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額 申告期限までに納付する金額 0 延納届出額 0

還付される税金がある方のみ記入します。

税理士印
税理士法第30条の書面提出有
税理士法第33条の2の書面提出有

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

手順3
11ページ
参照

手順4
20ページ
参照

手順5
24ページ
参照

手順5
24ページ
参照

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例①

縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例②

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例③

8	0	0	0	0
7	0	0	0	0

【第二表】

(損害に関する事項)			控除額は(イ)と(ロ)のうちいずれか多い方の金額
損害の原因	災害		(イ) 差引損失額÷所得金額の10分の1
損害年月日	平成29年6月16日		500,000円÷5,226,000×1/10=0円(△22,600)
損害を受けた資産	住宅、家財		(ロ) 差引損失額のうち災害関連支出の金額÷5万円
損害金額	13,500,000円		350,000÷50,000=300,000円
保険金などで補填される金額	13,000,000円		(イ) 0円<(ロ) 300,000円
(差引損失額)	500,000円		
差引損失額のうち災害関連支出の金額	350,000円		

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

手順4
23ページ
参照

手順6
25ページ
参照

平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 ○○市△△町X-X X-X

フリガナ名 コクセイ タロウ
氏名 国税 太郎

○ 所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	○○商事株式会社 ○○部 X-X-X	7,140,000円	169,500円

○ 雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

○ 住民税に関する事項

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所
国税 二郎 平 21-06-01

個人番号 XXXXXXXXXXXXXXX

給与・公的年金等に係る所得以外(平成30年4月1日においての歳末調整の方針(給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択) 給与から差引き 自分で納付

配当に関する住民税の特例
非居住者の特例
配当割額控除額

寄附金 都道府県、市区町村別 寄附金 都道府県、市区町村別
税額控除 住所別の控除額、市町村別 寄附金 都道府県、市区町村別

別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所名

FA0067

○ 所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	損金の種類	支払掛金
社会保険料控除		小規模企業共済等掛金控除	
合計		合計	

(8) 新生命保険料の計 旧生命保険料の計
新個人年金保険料の計 旧個人年金保険料の計
介護医療保険料の計

(9) 地震保険料の計 旧長期損害保険料の計

配偶者(寡夫)控除 勤労学生控除
死別 生死不明 学校名
離婚 未帰還

氏名

(11) 配偶者の氏名 生年月日 配偶者控除
明・大 昭・平 配偶者特別控除

個人番号

控除対象扶養親族の氏名 続柄 生年月日 控除額
明・大 昭・平 万円

扶養 個人番号
明・大 昭・平 万円

控除 個人番号
明・大 昭・平 万円

個人番号

(14) 扶養控除額の合計 万円

(17) 雑損控除
損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類など
災害 29.6.16 住宅・家財
損害金額 保険金などで補填される金額 差引損失額のうち災害関連支出の金額
13,500,000円 13,000,000円 350,000円

(18) 支払医療費等 保険金などで補填される金額

(19) 寄附金の所在地・名称 寄附金

○ 特例適用条文等

第二表平成29年分(給与)の源泉徴収税額(第一表)を記入してください。○源泉徴収税額は、国税庁ホームページ「給与所得者の源泉徴収税額表」を参照してください。

手順3
16ページ
参照

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー(個人番号)も記入する必要があります。
なお、還付申告の方で、申告する所得が年末調整を受けた給与所得のみの場合で、配偶者(特別)控除や扶養控除に異動がないときは、第二表の⑫~⑭欄のマイナンバー(個人番号)の記入を省略できます。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成29年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受け る者	住所 又は居 所	〇〇市△△町×-××-×		(受給者番号)											
				(役職名)											
				氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ		国税 太郎									
種別		支払金額		給与所得控除後の金額		所得控除の合計額		源泉徴収額		円内		円		円	
給与・賞与		7 140 000		5 226 000		2 589 196		169 500							
控除対象配偶者の有無等		配偶者特別控除の額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)				16歳未満扶養親族の数		障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数			
有 証者		○		1				1							
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額									
1,073		196		105 000		21 000									
(摘要)															
生命保険料の金額の内訳		新生命保険料の金額		旧生命保険料の金額		介護医療保険料の金額		新個人年金保険料の金額		旧個人年金保険料の金額		出払個人年金保険料の金額			
		25,000		35,000		90,000						25,000			
住宅借入金等特別控除の額の内訳		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額		住宅借入金等特別控除の額			
控除対象配偶者		(フリガナ) コクゼイ リョウコ		氏名 国税 良子		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		旧長期損害保険料の金額					
控除対象扶養親族		(フリガナ) コクゼイ イチロウ		氏名 国税 一郎		(フリガナ) コクゼイ ジロウ		氏名 国税 二郎		(備考)					
1						1									
2						2									
3						3									
4						4									
未成年者		外国人		死亡退職者		本人が障害者		専業主婦		勤労学生		中途退社・退職		受給者生年月日	
												29		○ 49 11 16	
支払者		住所(居所)又は所在地		〇〇区〇〇 ×-×-×		氏名又は名称		〇〇産業株式会社		(電話番号)		××-××××-××××			

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票 (原本)」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。